



録画を配信

# 次期観光交流推進計画の重点は

## 町長 広域での連携で、持続的な観光振興

白鷹町では現在次期観光交流推進計画の策定に取り組んでいる



竹田雅彦議員

### 観光交流推進計画の成果は

**問** 今年度が最終年度となる計画の進捗状況は。

**町長** 入込客数や他の項目も目標に達していない。特に入込客数はニーズの多様化等社会情勢の変化もあり、減少傾向。成果としては、「SHIRATAKARA RED（シラタカレッド）」を商標化し新商品開発・販売につながっている。伝統工芸等の担い手不足が課題。滞在型観光で経済波及効果を高めしていく必要がある。

### 新計画の重点は。

**町長** 「日本の紅をつくる町の推進」体験観光と町内周遊の推進「魅力発信とインバウンドの推進」

が大きな柱。各関係団体の組織体制の充実、広域での連携をはかり、持続的な観光振興を展開していく。

### 主なイベントの集客数アップの方策は。

**町長** 古典桜は各地区の周遊、紅花は日本遺産や日本農業遺産にも認定されて県内で広域的に取り組む。鮎まつ

りは9〜10月の長期的な取り組みを検討している。新そばは観光客数が増えている。

### 若鮎マラソン参加者に、飲食店や温泉等の割引券導入の考えは。

**町長** ほかの自治体でも取り組んでいるところもあり、関係団体と協議し検討する。

### インバウンド対策

### 外国人観光客の状況や対策は。

**町長** 台湾の旅行会社へのプロモーションを実施。町内のゲストハウスは、約50人が利用した。インターネット等を更に活用し、情報発信していく。

### キャッシュレス化やWiFi環境は。

**町長** キャッシュレス導入は25%弱。WiFi

Fiは観光施設の一部や中央公民館で整備が進んでいる。

### 観光時の安全

### 防犯カメラの設置状況は。

**町長** 公共施設では、20施設78台設置。観光拠点施設にもそれぞれ設置してあるほか、学校、保育園、まちづくり複合施設にも設置している。

### 設置の際の補助制度は。

**町長** 現在は、店舗等で設置の際は、それぞれの責任のもとでの設置となる。商店会等での導入は、ランニングコストもかかるため慎重にご検討いただき、その中で町としてどういった支援ができるか考えさせていただく。



最上川の自然の恵み

観光分野の更なる環境整備の充実を